



## 性差医療部→女性専門外来

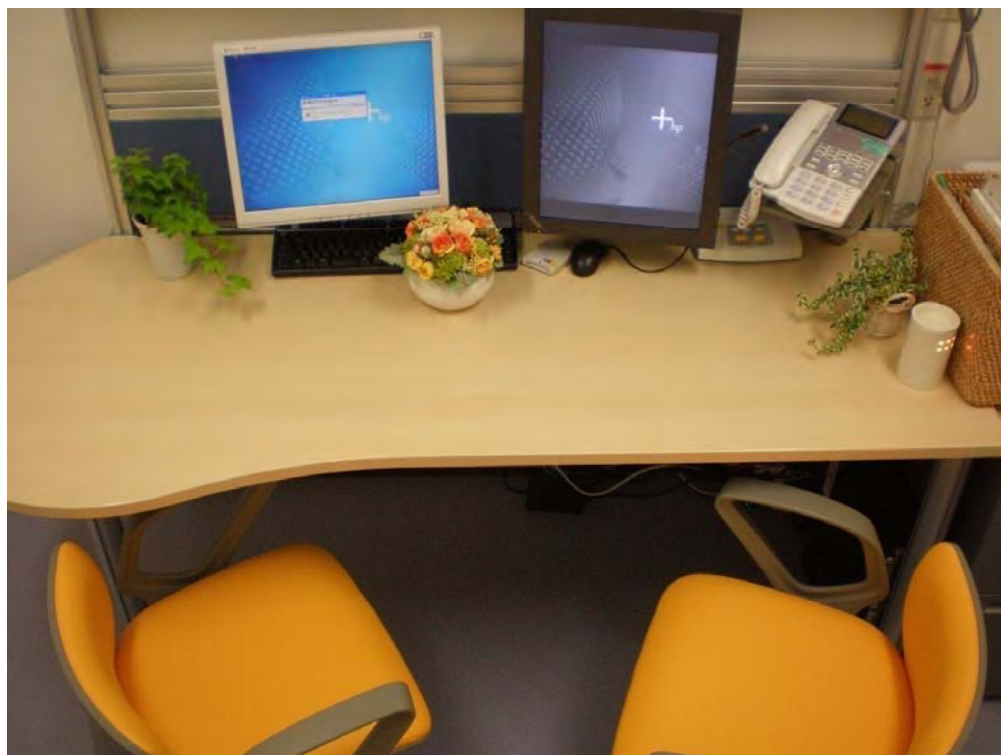


- ▶ 各分野専門医13名が連携。
  - ◆ 内分泌代謝内科 ◆ 精神科
  - ◆ 循環器内科 ◆ 乳腺・肛門外科
  - ◆ 耳鼻咽喉科 ◆ 形成外科
  - ◆ 整形外科 ◆ 産婦人科 ◆ 小児科
  - ◆ ペイン緩和 ◆ 産業・環境医学
  - ◆ 遺伝カウンセリング
- ▶ 血液検査, ECG, X線, US, 骨密度Dexa法, CT, MRI : 即日撮れ, 結果もその場で.

Miyuki Katai, MD, PhD

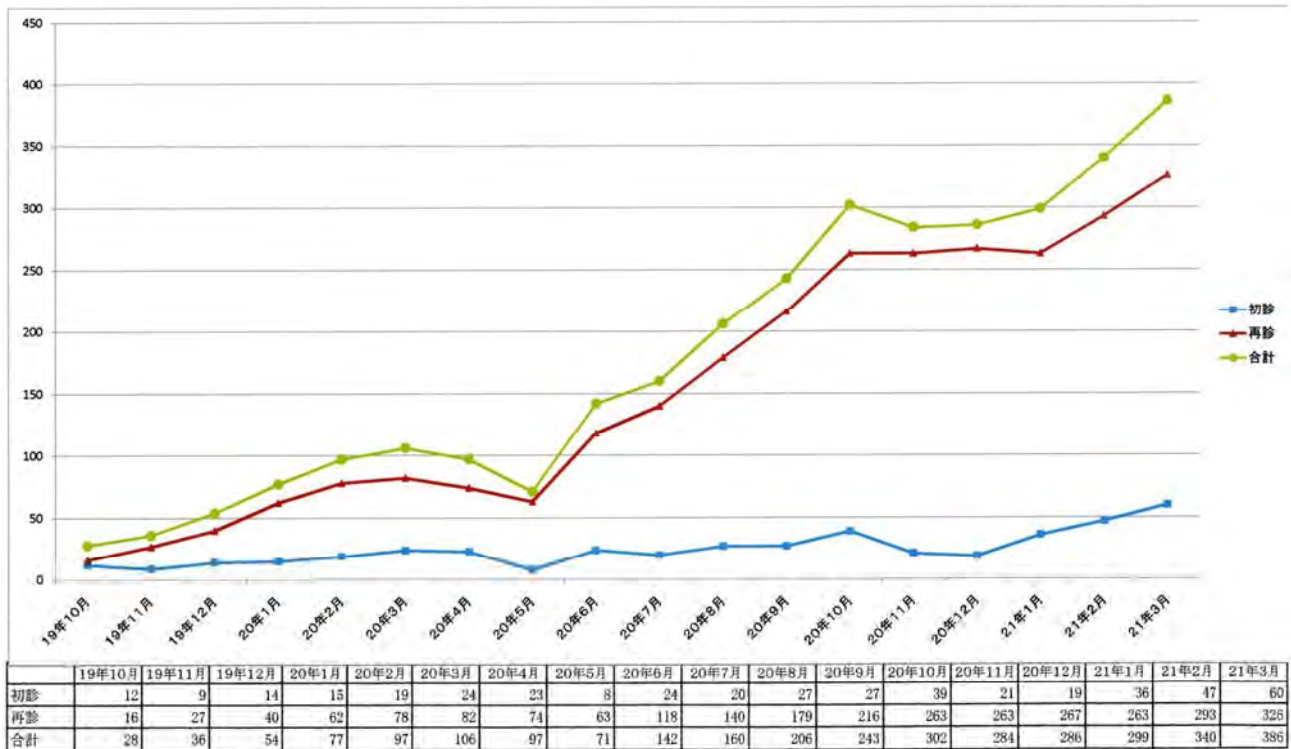
東京女子医大東医療センター日暮里クリニック

## 「女性専門外来」診察室



リラックスできる雰囲気の中性差医学に基づいた最先端の診療を提供.

# 女性専門外来受診者数の推移



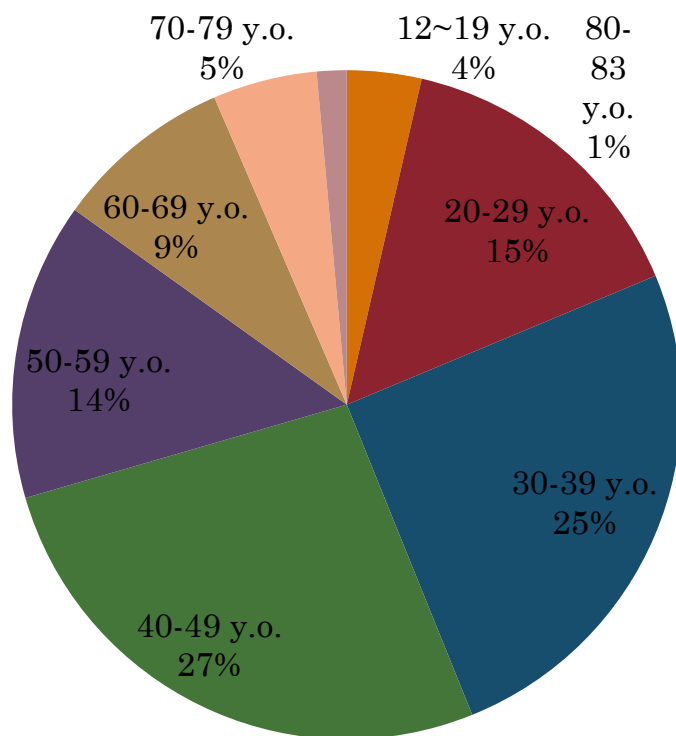
## 東京女子医大東医療センター日暮里クリニック 「女性専門外来」では

- ◆ 「性差医学」に基づいた診療を提供する。
- ◆ 共感的態度で傾聴する。
- ◆ リラックスでき温かみのある診療環境を整備する。
- ◆ 「鑑別診断」を重視する。



# 当女性専門外来受診者の年齢分布: 12-83 歳

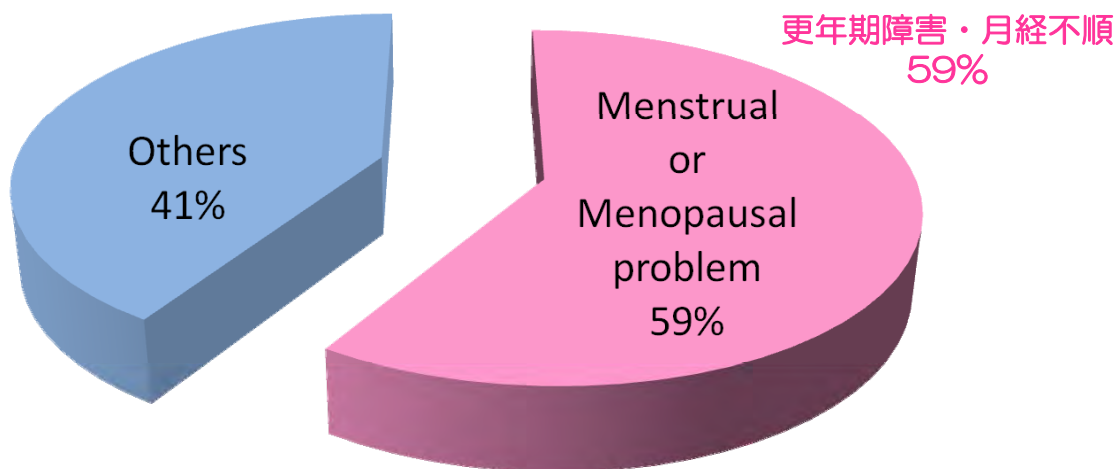
東京女子医科大学東医療センター 日暮里クリニック



*Department of Gender Medicine,  
Medical Center East, Tokyo Women's Medical University*

# 女性専門外来受診者の主訴

東京女子医科大学東医療センター 日暮里クリニック



*Department of Gender Medicine,  
Medical Center East, Tokyo Women's Medical University*

# 東京女子医大東医療センター

## 女性専門外来の経験から



- ✓年齢分布:12-83歳
- ✓主訴:59%が月経不順か更年期障害をkey word

そのうち27%

原因として  
「その他の器質的疾患」あり。

Miyuki Katai, MD, PhD

THE YOMIURI SHIMBUN

### 夕刊 読賣新聞

2009年(平成21年)

2月7日土曜日

2009.2.7の読売新聞  
夕刊第1面に  
当診療部の研究データ  
記事掲載

**更年期障害と診断 実は...**

**原因の病気が見逃す例も**

女子医大調査

更年期障害など診断された女性患者の27%が、東京女子医大東医療センター性差医療部の片井みゆき准教授らによって見逃されていたことが、東京女子医大東医療センター性差医療部の片井みゆき准教授らによって明らかになった。7日から東京都内で始まる日本性差医学・医療学会で発表する。

同センター「日暮里クリニック(東京都荒川区)」は2007年10月、女性の病気を総合的に診る「女性専門外来」を開設した。以後、半年間に、月経

女性専門外来 女性の体と心を専門的に診る外来。主に女性医師が十分な時間をかけて初診。鹿兒島大病院で2001年に初めて登場し、以後、全国に広がり、現在は400か所を超えた。全国の外来はNPO「性差医療情報ネットワーク」のホームページ(<http://www.nahw.org/indexWomenHospital.htm>)で検索可能。

不順やめまい、発汗、倦怠感などの不定愁訴を訴えて受診した患者を分析した。そのほか、脳下垂体の病能不全や更年期障害と診断され、女性ホルモンや漢方などを投与されたが、症状が改善せず、同外来を受診した患者は85人(20~50歳代)。このうち23人(27%)で、症状の原因となる別の病気が見つかった。

多かったのは、バセドウ病や橋本病など甲状腺ホルモン異常(6人)。更年期障害と同じような症状「すい」と話す。

「女性専門外来」は、見落としがちな病気を発見しや

## 「更年期様症状」の背景にあった器質的疾患

- ◆ 甲状腺機能亢進症
- ◆ 甲状腺機能低下症
- ◆ 脳腫瘍
- ◆ 褐色細胞腫
- ◆ 強皮症
- ◆ シェーグレン症候群
- ◆ 副腎皮質機能低下症
- ◆ 慢性硬膜外血腫
- ◆ 慢性膀胱炎
- ◆ 貧血
- ◆ 白血病            など

## 「月経不順」の背景にあった器質的疾患

- ◆ 下垂体腫瘍
- ◆ 甲状腺機能亢進症
- ◆ 甲状腺機能低下症
- ◆ 褐色細胞腫
- ◆ 神経原性縦郭腫瘍
- ◆ 副腎皮質機能低下症
- ◆ 卵巣癌
- ◆ 卵巣奇形腫
- ◆ 妊娠            など